

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

H 2 4 豪 雪 へ の 取 り 組 み 結 果 に つ い て

～ 雪害対策の強化により鳥取道と直轄国道の交通を確保しました。～

今冬、鳥取県東部では昨冬を超える豪雪となり、鳥取気象台の鳥取観測所では昭和29年観測以降史上3番目の累計降雪量（346cm）を記録しました。

当事務所では、昨冬の年末年始の雪害を踏まえ、雪害対策の取り組みを更に強化、シーズン前には関係機関と連携した雪害訓練の実施、また、シーズン中には冬用タイヤ等装着指導の実施などの新たな取り組みを行ってきました。この結果、雪害による全面通行止めを防ぎ、鳥取道と直轄国道の交通を確保しました。

なお、今冬の主な雪害対策は、次のとおりです。

【雪害に対する主な対策】

- 1) 雪害対応の体制の確立及び強化
 - ・関係機関(県、市長、県警)と連携した通行止めシミュレーションの策定、現地確認。
 - ・関係機関と連携した雪害対応訓練の実施。
 - ・道路利用者に対しコンビニ、GS、大型店舗を通じて通行止め情報等の提供体制を構築。
 - ・スタック多発箇所へのCCTVの増設。 ※CCTV：道路状況を確認するためのテレビカメラ
 - ・CCTVの無い区間のコンビニ、GSからの情報収集の確立。
- 2) 冬用タイヤ等装着の啓発活動
 - ・冬用タイヤ等装着の広域的啓発活動。
 - ・ドライバーへの冬用タイヤ装着啓発チラシ配布の実施。
 - ・雪対応の実施状況の啓発パネル展示の実施。(県庁ロビー、事務所)
 - ・牽引した車両を運行する事業者に対し通知文書による啓発を実施。
- 3) 降雪中の雪害対策
 - ・スタック多発箇所への除雪ドーザー、滑り止め資材の配備。注意喚起する看板の設置。
 - ・スタック防止のための日光坂車線絞込の実施。
 - ・冬用タイヤ、タイヤチェーン装着指導を延べ10回実施。
 - ・除雪車41台にGPS携帯を搭載し、位置や情報収集。
 - ・除雪作業や通行の支障となるスタック車両の牽引移動実施。

また、スタック多発箇所の国道9号日光坂への融雪設備設置工事に着手するとともに、今冬の結果を踏まえ、新たなスタック多発箇所の対策や冬用タイヤ等装着指導の効率的実施の検討等を進め、来冬に向け更なる対応の強化を図っていきます。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435 (代表)

副所長(道路) 角田 真一

【担当】 道路管理第一課長 小池 健三

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

H24豪雪への取り組み結果について

平成24年3月

鳥取河川国道事務所

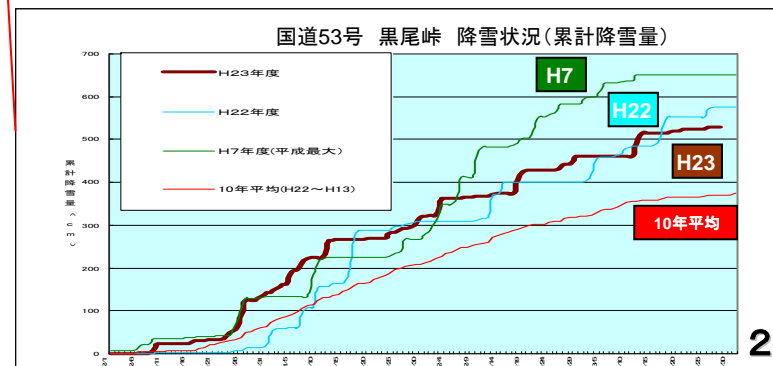
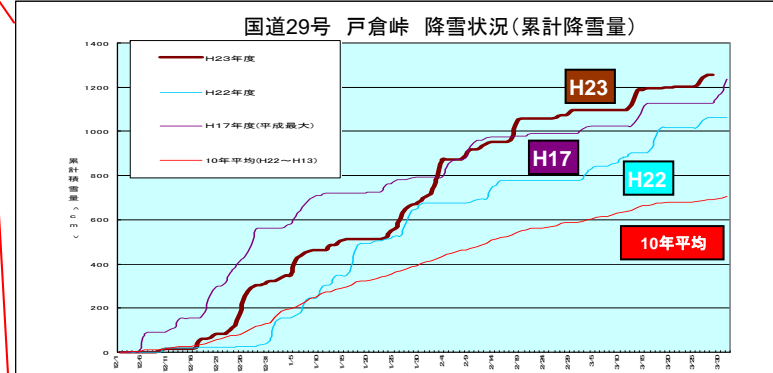
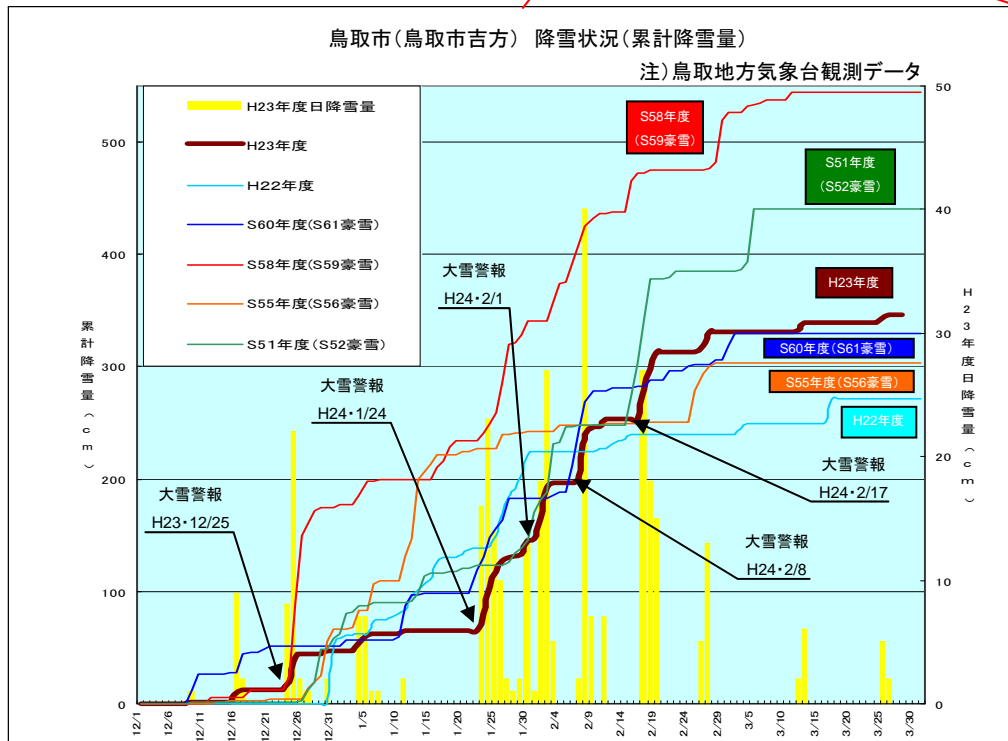
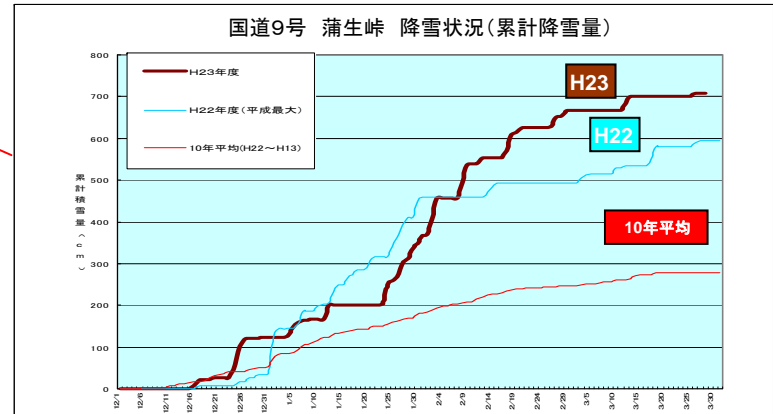
◆H24豪雪への取り組み結果について◆

1. 今冬(平成23～24年)の降雪状況
鳥取地方気象台の鳥取観測所では昭和29年観測以降史上3番目の累計降雪量。(S59豪雪:545cm, S52豪雪:445cm, H24年3月:346cm, S61豪雪:330cm,)
蒲生峠観測所(709cm)と戸倉峠観測所(1,255cm)では、平成24年3月28日現在で、平成に入ってから累計降雪量の最高値を観測。
2. スタック発生(交通支障)の状況
 - ①スタック車両の86%は大型車。また、県外車が76%。
 - ②今冬は沿岸部に集中して発生。(特に9号日光坂・白兔付近) 中国山地は峠部で発生。(黒尾峠・志戸坂峠)
3. 雪害対応の具体事例
○平成24年2月1日～3日の雪害及び対応の状況
4. 雪害に対する主な対策
 - 1) 雪害対応の体制の確立及び強化
 - 関係機関(県、町、警察)と連携した通行止めシミュレーション(雪害カルテ)の策定と現地確認を実施。
 - 関係機関と連携した雪害対応訓練の実施。(11/18情報伝達訓練・タイヤ指導実施訓練、12/7[国道9号]、12/9[国道29号・53号]実動訓練)
 - 道路利用者に対し、コンビニ、GS、大型商業店舗等を通じて通行止め情報等の提供体制を構築。
 - スタック多発箇所へのCCTVの増設。(国道9号日光坂東)
 - CCTVの無い区間のコンビニ、GSからの情報収集の確立。
 - 2) 冬用タイヤ等装着の啓発活動
 - 冬用タイヤ、タイヤチェーン装着の広域的啓発活動。(近畿、中国、四国、九州の運送関係各協会及び組合へ周知依頼文送付)
 - 運送関係協会及び組合、道の駅やサービスエリア等へのチラシの配布、掲示。
 - ドライバーへの冬用タイヤ装着啓発チラシ配布の実施。
 - 雪対応の実施状況の啓発パネル展示の実施。(県庁ロビー、事務所)
 - 牽引した車両を運行する事業者に対し通知文書による啓発を実施。(県警、県との連名で通知)
 - 3) 降雪中の雪害対策
 - スタック多発箇所への除雪ドーザー、滑り止め資材の配備。注意喚起する看板の設置。
 - スタック防止のための国道9号(上り)浜村(日光坂西側)車線絞込の実施。
 - 冬用タイヤ、タイヤチェーン装着指導を実施。(鳥取道での冬用タイヤ装着指導:7回。国道9号、53号でのタイヤチェーン等装着指導:4回)
 - 除雪車41台にGPS携帯を搭載し、位置や情報収集。
 - 除雪作業や通行の支障となるスタック車両の牽引移動実施。
5. 来冬に向けた取り組み予定
 - スタック多発箇所の更なる対策の検討。
 - ・日光坂融雪設備新設
 - ・凍結抑制舗装等の対策
 - ・CCTVの増設 等々
 - 冬用タイヤ、タイヤチェーン装着指導の効率的実施の検討。
 - 道路利用者への通行止め等道路交通情報の提供方法の充実。

H24豪雪への取り組み結果について〔今冬の降雪状況〕

鳥取地方気象台の鳥取観測所では昭和29年観測以降史上3番目の累計降雪量。(S59豪雪:545cm, S52豪雪:445cm, H24年3月:346cm, S61豪雪:330cm)
 蒲生峠観測所(709cm)と戸倉峠観測所(1,255cm)では、平成24年3月28日現在で、平成に入ってから累計降雪量の最高値を観測。

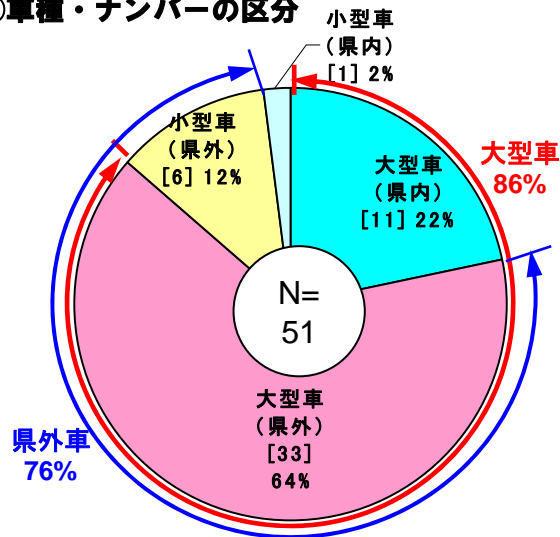
注) 蒲生峠・戸倉峠・黒尾峠は国土交通省観測所データ



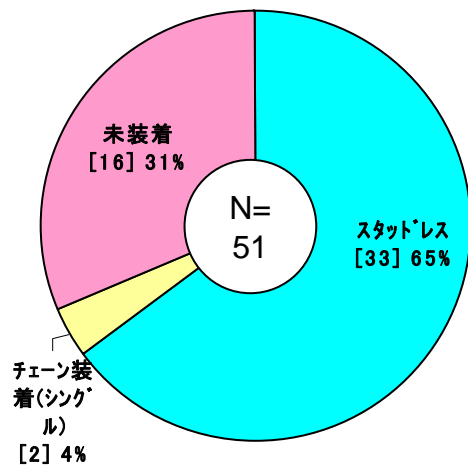
◆スタック車両の状況

- ・スタック車両のうち、大型車が86%を占める。
- ・スタック車両の76%が県外の車両。

①車種・ナンバーの区分



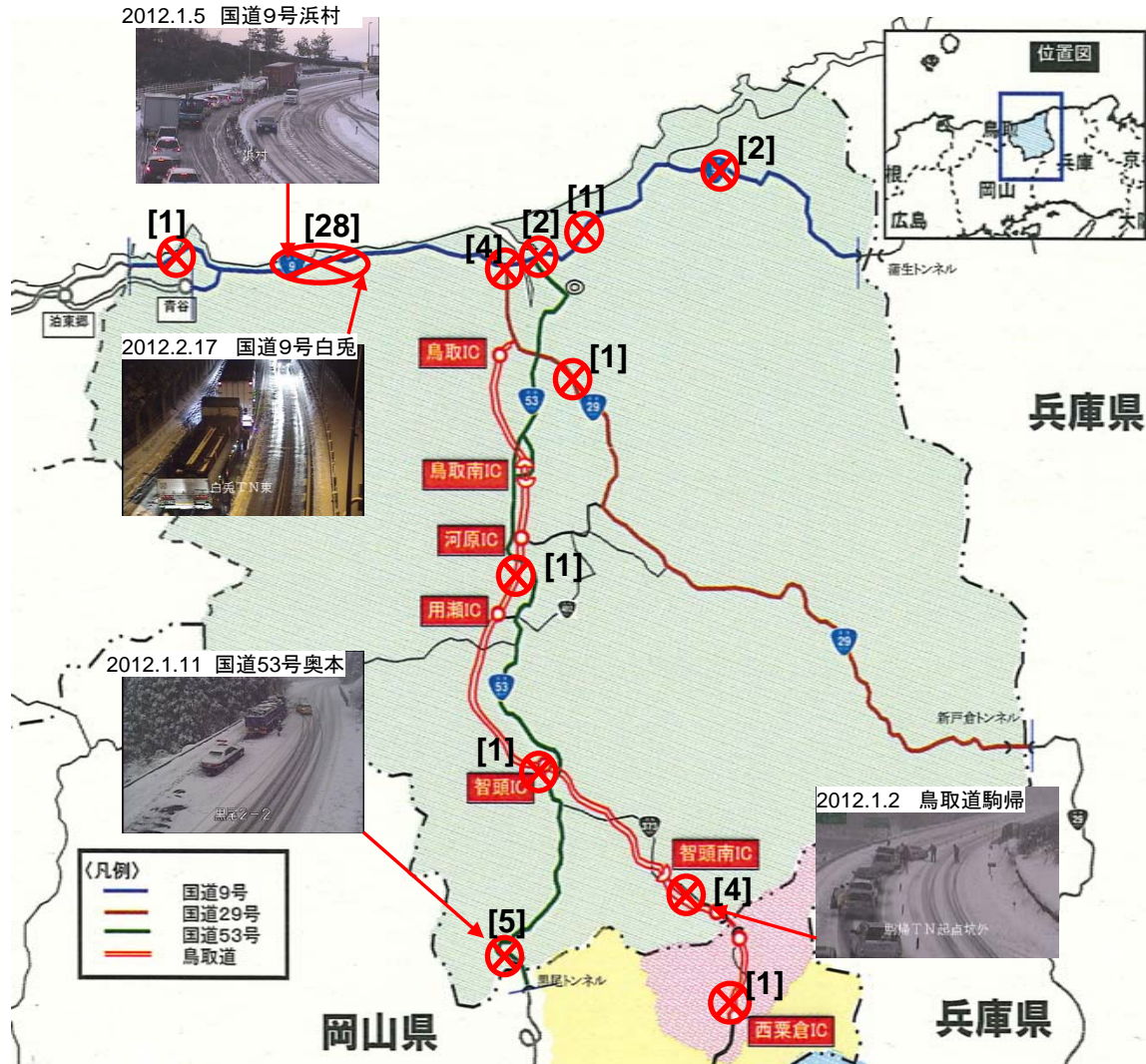
②冬用タイヤ等装着の区分



[]は台数

◆スタック発生の箇所

- ・今冬は沿岸部に集中して発生。(特に9号日光坂・白兔付近)
- ・中国山地は峠部で発生。(黒尾峠・志戸坂峠)



※スタック:スリップにより走行不能となり交通に支障

⊗スタック発生箇所 []は台数 3

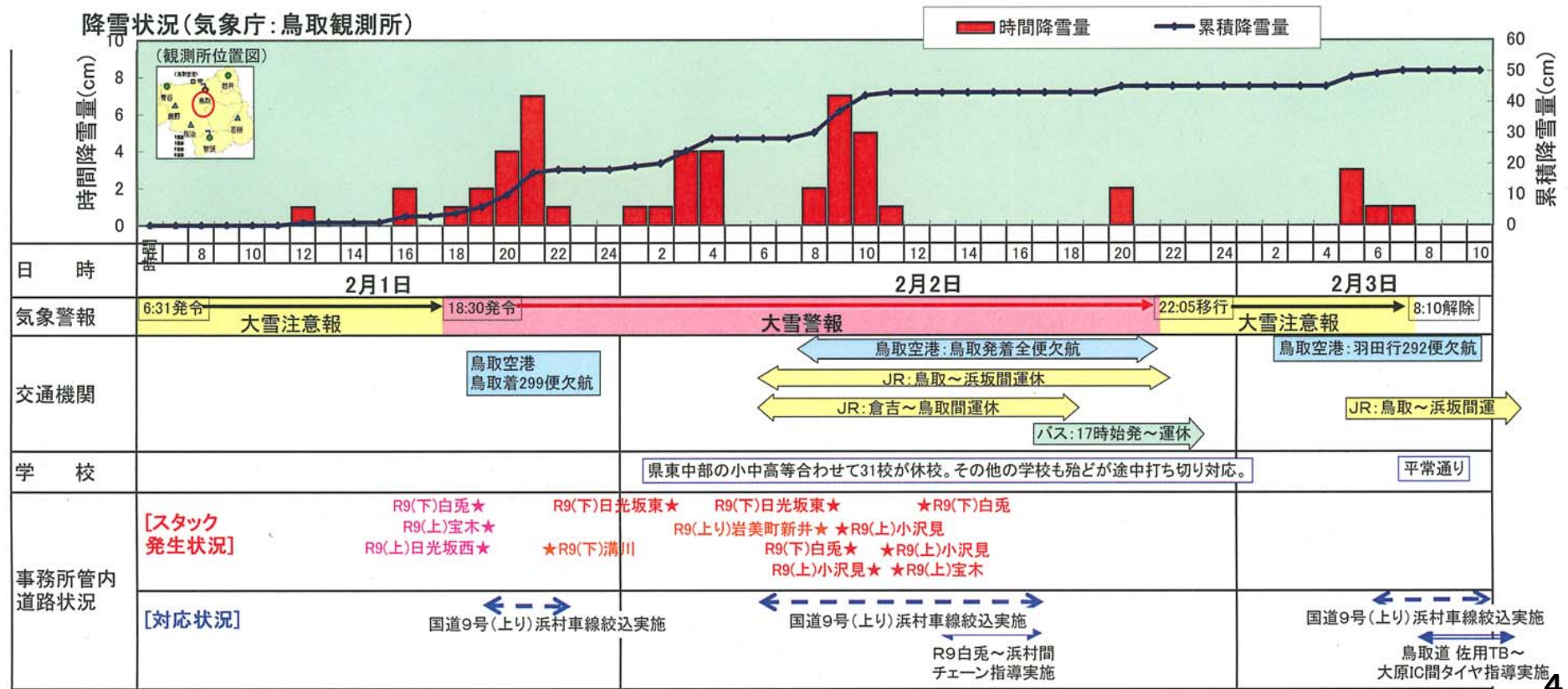
H24豪雪への取り組み結果について〔雪害対応の具体事例〕

平成24年2月1日～3日の雪害及び対応の状況

2月1日～3日は、鳥取観測所で累積降雪量が50cmとなるなど県東部を中心に大雪となり、交通機関の乱れや学校も休校や途中打ち切る措置をとるなどの市民生活に影響がでた。特に2日は、鳥取空港では発着する全便が欠航、東部を走る路線バスは午後5時以降の始発全て運休、JRも鳥取～倉吉間は10時間、鳥取～浜坂間は終日運休するなど一時交通機関がまひ状態となった。

こうした状況の中、国道9号では、数カ所で車両のスタック等による渋滞は発生したが、除雪作業やスタック車両の牽引移動等の対応により大事には至らなかった。

また、気高町浜村の日光坂西側での車線絞込、タイヤチェーン装着指導の実施によりスタック車両の発生も軽減でき、雪害による通行止めを防いで通行を確保できた。



H24豪雪への取り組み結果について〔雪害対応の具体事例〕

平成24年2月1日～3日の国道9号雪対応の状況

国道9号(上り)浜村(日光坂西側)車線絞込実施

国道9号浜村の日光坂西側は、上り線(鳥取方向)が登坂の途中で2車線から1車線に絞り込まれているため、渋滞時は割り込みによる車両の一時停止が生じ、積雪時には大型車のスタックが発生するため、予防策で登坂の手前で1車線に絞り込みを実施。



スタック車両

割り込みによるスタック車両発生状況



2/3 車線絞込実施状況

日光坂除雪ドーザー配備

国道9号日光坂では、スタック車両が多発することから、スタック車両の牽引移動や、夜間早朝の集中除雪作業を実施するため、予め除雪ドーザーを龍見台に配備。



国道9号日光坂(龍見台)除雪ドーザー配備、除雪状況



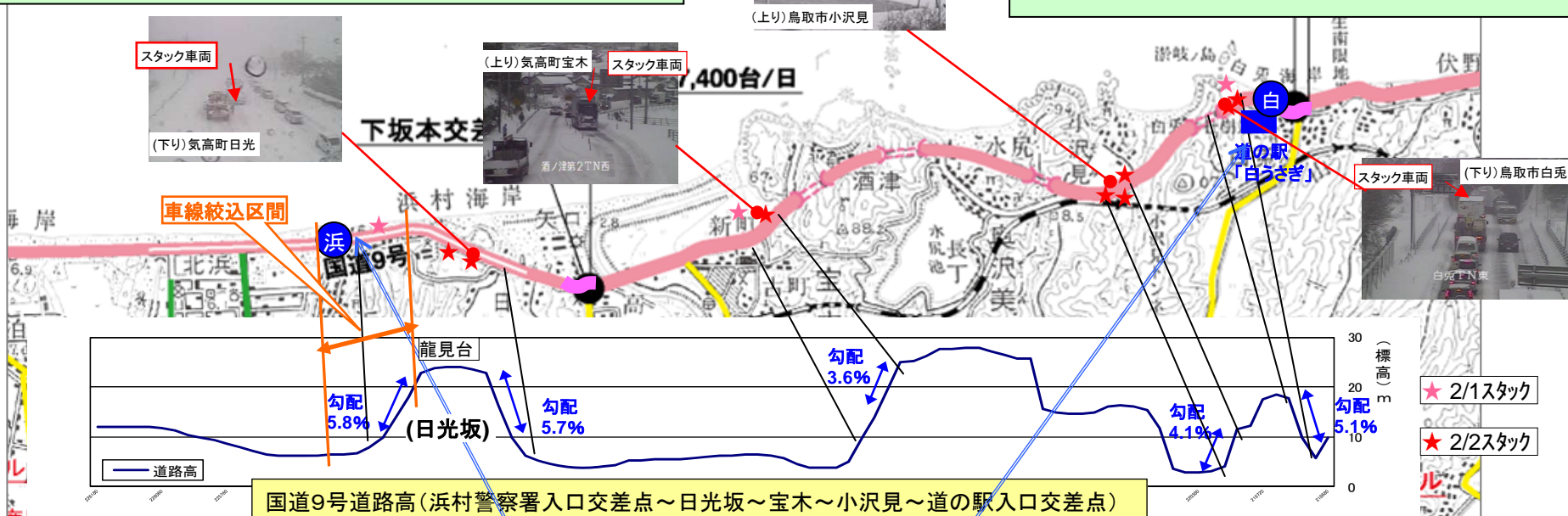
スタック車両

(上り)鳥取市小沢見



スタック車両

(上り)鳥取市小沢見



スタック車両

(下り)気高町日光

車線絞込区間

(上り)気高町宝木

スタック車両



酒ノ津第2丁N西

スタック車両



(下り)鳥取市白兎
白兎丁N東

国道9号(白兎～浜村間)タイヤチェーン装着指導実施

国道9号白兎～浜村間では、2日の9時頃から大型車(冬用タイヤ装着済)のスタックが多発したことから、大型車を対象にタイヤチェーン装着指導を実施。実施中はスタックの発生は無し。

- ・時間 13時05分～17時45分
- ・場所 国道9号(上り)鳥取市気高町浜村 浜村東交差点
国道9号(下り)鳥取市白兎 道の駅入口交差点



浜 浜村東交差点での実施状況



白 道の駅入口交差点での実施状況

スタック車両の牽引移動実施

国道9号鳥取市気高町小沢見地内で発生したスタック車両が、交通及び除雪作業の支障となったため、除雪車により牽引移動を実施した。

なお、牽引した車両を運行する事業所に対して、「滑り止め措置の徹底」通知を県警、県との連名で送付している。



2/2 グレーダーによる牽引(小沢見附近)

1) 雪害対応の体制の確立と強化（事前準備）

○関係機関と連携した通行止めシミュレーション(雪害カルテ)の策定と現地確認

- ・交通障害が予想される箇所について、円滑な除雪、交通開放を行うため、予め「通行止めシミュレーション」作成。
- ・国、県、市町村、県警等関係機関で共有し、迅速な通行止め、迂回路の優先除雪等連携して実施。
- ・作成に当たっては、関係機関で事前協議、現地確認を実施。



国道9号浜村での現地確認



○関係機関と連携した雪害対応訓練の実施

【雪害訓練】

- ・今季の雪害対策の取り組みを強化するため、新たに関係機関と連携した雪害訓練を実施。
- ・管内4箇所では豪雪による雪崩、大型車スタック等による交通障害発生を想定した情報伝達、通行止め措置、集中除雪体制の確立、及び緊急待避所の確保等現場の実情に即した机上訓練。
- ・また、昨冬の交通障害原因となるスタック車両の約7割が冬用タイヤ未装着であったことから、ドライバーに対する冬用タイヤ装着指導の訓練及び啓発活動を雪害訓練の一環で実施。
- ・タイヤ装着指導訓練では、県警本部協力による指導説明を実施。



11/18 雪害訓練実施状況



11/18 鳥取道でのタイヤ指導訓練、県警からの指導説明状況



【実働訓練】

- ・作成した「通行止めシミュレーション」により、通行止め要員配置やUターン箇所・PAの除雪対応等について、保守業者、協定業者等と作業の確認を行う実働訓練を実施。
- ・国道9号については、現地での作業確認を実施。



机上でのシミュレーション



現地作業確認(溝川交差点)

○道路利用者に対しコンビニ・GS・大型店舗を通じて通行止め等の情報提供

- ・通行止め等発生した際、その情報をドライバーに提供するため、沿線のコンビニやガソリンスタンドにFAXし、店頭表示等による情報提供の協力を依頼。
- ・日中は、通行止め等の情報を、イオン鳥取北店の利用者への店内放送による情報提供の協力を依頼。

コンビニ等に情報提供するFAX様式

【重要】 道路規制情報(通行止め)のお知らせ
基本的に各路線ごとの様式で情報提供。
 (A3)イオン、(A4)コンビニ、GS、道の駅、共通 平成23年10月17日(月)午前8時30分現在

【対象道路】
鳥取自動車道

【区間】 ※通行止め解除は未定です。
 10月17日(月)午前8時30分より
 智頭南IC ~ 河原IC
 10月17日(月)午前8時30分より
 ○○○IC ~ ○○○IC

【迂回路】
 国道63号 国道373号

【理由】
 台風15号による大雨のため、通行止めとなっています。

【問い合わせ先】
 0857-29-1998
 国土交通省 鳥取河川国道事務所



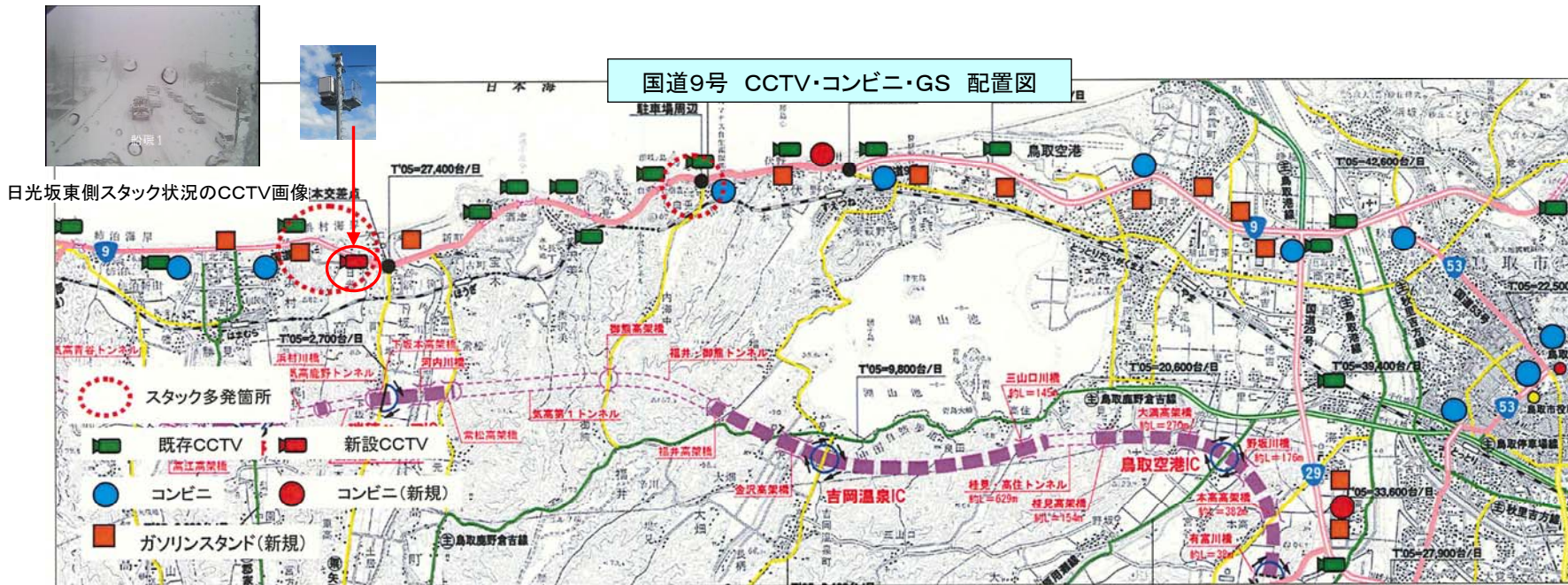
○スタック多発箇所へのCCTV増設

CCTV:道路状況を確認するための
 テレビカメラ

- ・スタック多発箇所での通行障害等発生状況を、迅速、的確に把握ができるようCCTVを増設。
- ・今期、国道9号日光坂東側の新たに設置。

○コンビニ・GSからの情報収集を強化

- ・CCTVの無い区間の道路状況の把握を強化するため、新たにコンビニ、ガソリンスタンドへ情報提供を依頼。
- ・今期、管内でコンビニ3箇所、ガソリンスタンド20箇所を追加。



運送事業組合協会への依頼文

【事前啓発】

○冬用タイヤ、タイヤチェーン装着の広域的啓発活動の実施

- ・昨冬の交通障害原因となるスタック車両の約8割が県外車であったことから、近畿、中国、四国、九州の各運送事業組合や協会へ、国、県、県警の連名で「すべり止め措置の徹底」を文書で依頼。
- ・冬用タイヤ装着等啓発チラシを、広域的に配布。
配布先：近畿、中国、四国、九州の各運送事業組合や協会
中国地方及び九州地方、兵庫県内の道の駅、中国道のサービスエリア

○ドライバーへの冬用タイヤ装着等啓発チラシ配布実施

- ・降雪シーズン前に管内各路線で、ドライバーに対して冬用タイヤ装着の啓発チラシを配布し冬の備えの啓発活動を実施。
- ・合わせて、冬用タイヤの装着状況調査を実施。



啓発チラシ配布状況(国道53号)

○雪対応実施状況の啓発パネル展示(県庁ロビー、事務所)

- ・雪道でのスタックの原因が冬用タイヤ等未装着車であることなどを県民の皆様にはわかってもらうために、県庁ロビー、事務所ロビーに「今冬の雪対応の状況」等の啓発パネルを展示。
(パネル内容)
- ・スタック調査の実施結果
- ・冬用タイヤ装着指導、チェーン装着指導、歩道除雪作業等の雪対策の実施状況。
- ・車道やトンネル内でのチェーン装着の危険性。等々



県庁ロビーパネル展示状況

○牽引した車両を運行する事業所に対し通知文書送付

- ・すべり止めの措置を講じずスタックした車両を、交通や除雪作業の妨げとなるため、やむを得ず除雪車で牽引移動した車両を運行する事業所に対し、「すべり止め措置の徹底」の通知を、国、県、県警の連名で送付。



スタック車両を牽引移動

車両を運行している事業所へ通知文を送付

近畿、中国、四国、九州
トラック協会会長様
高圧ガス保安協会支部長様
石油商業組合支部長様

国土交通省鳥取河川国道事務所
国土交通省倉吉河川国道事務所
鳥取県警察本部交通部
鳥取県県土整備部長

積雪又は凍結道路における自動車のすべり止め措置の徹底について (依頼)

寒冷の候、貴協会におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。平素、道路交通、道路行政に格別のご理解をいただき深く感謝いたします。さて、昨年末から本年初めの豪雪により、鳥取県内の国道9号において、スリップによる大型車両の立ち往生を原因の一つとした大渋滞が発生しました。その後、こうした雪害の教訓を生かして、警察、道路管理者等の関係機関と連携して、情報共有を図り、迅速な通行止め措置による集中除雪を行い早期の交通開放を目指す取り組みなどの啓発対策を実施しています。一方で、昨冬、中国地方において交通障害の原因となるスリップにより走行不能となった車両の約7割が冬用タイヤ、タイヤチェーン未装着との調査結果(別紙参照)も出ております。雪道走行には自動車のすべり止め装置の装着が最も重要であることをご理解いただき、ご協力をお願いします。ついでに、貴協会に加盟の事業所に対し、同様のトラブル防止のため、下記のことについて周知徹底していただきますようお願いいたします。

記

- 1 冬季において鳥取県内を走行する際には、気象状況及び道路状況をよく確認すること。
- 2 冬季において鳥取県内を走行する際には、タイヤチェーン、スノータイヤ等自動車のすべり止め効果のある措置を講じることができよう、あらかじめ準備をすること。
- 3 積雪又は凍結している道路において自動車を運転するときは、タイヤチェーン、スノータイヤ等自動車のすべり止め効果のある措置を講ずること。(特に、タイヤチェーンの早期の着脱をお願いします。)

【事後啓発】

3) 降雪中の雪害対策 (国道9号)

○タイヤチェーン装着指導の実施

国道9号では、今冬、大型車を対象に冬用タイヤ装着指導、タイヤチェーン装着指導を実施。実施中は、スタック車両の発生無し。

【冬用タイヤ装着指導】
平成24年1月24日 9:00~9:45
国道9号(上り)浜村東交差点



チェーン装着指導状況
(H24.2.9 浜村東交差点)

【タイヤチェーン装着指導】
平成24年2月9日 7:00~9:00
国道9号(上り)浜村東交差点
(下り)白兔道の駅入口交差点



チェーン装着指導状況
(H24.2.9 白兔道の駅入口交差点)

平成24年2月2日 13:05~17:45
国道9号(上り)浜村東交差点
(下り)白兔道の駅入口交差点

○日光坂への除雪ドーザー配備

日光坂では、スタック車両が多発することから、スタック車両の牽引移動や、夜間早朝の集中除雪作業を実施するため、予め除雪ドーザーを龍見台に配備。



日光坂(龍見台)除雪ドーザー配備 除雪ドーザーでの牽引状況(日光坂)

○スタック多発箇所への滑り止め資材の配備

スタック多発箇所へ急な積雪等によりスタックした車両を迅速に救出するため、凍結防止材(塩カル)、砕石等を配置。



日光坂塩カル、7号採石の設置

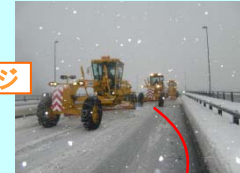


道の駅「白うさぎ」にペットボトル入り7号採石の設置

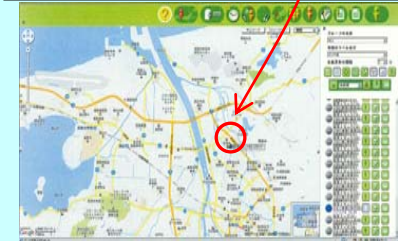
○除雪車にGPS携帯を搭載し、位置等情報収集

除雪車にGPS携帯を搭載し、位置等の情報を収集し、除雪作業体制の強化を図る。

イメージ



システム(ロケ探)により地図上へ位置を表示



○歩道除雪の実施

通学路となっている箇所は、通学の時間帯に合わせて歩道除雪を実施。



鳥取大橋付近歩道除雪状況

○スタック多発箇所へ注意喚起看板設置

ドライバーに早めの雪対策を講じて貰うため、チェーン着脱場やスタック多発箇所を周知するために注意看板を設置。



白兔道の駅手前看板



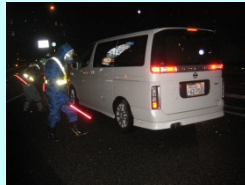
スタック多発箇所

3) 降雪中の雪害対策（鳥取道）

○冬用タイヤ装着指導の実施

鳥取道では、今冬、冬用タイヤ装着指導を実施。

- ・H23.12.26 大原IC(下り)
- ・H24.1.11 大原IC～鳥取IC間(上下)
- ・H24.2.3 佐用TB～大原IC間(上下)
- ・H24.3.12 大原IC(下り)



H24.1.11鳥取道 鳥取IC冬用タイヤ装着指導実施状況



H24.1.11鳥取道 大原SS冬用タイヤ装着指導実施状況

○本線、トンネル内でのチェーン装着防止の啓発チラシ配布

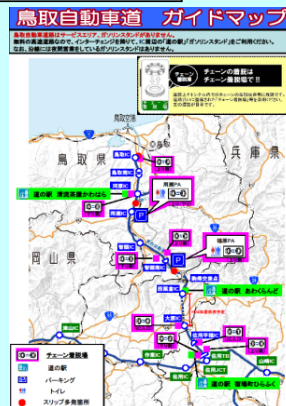
年末年始に鳥取道本線、トンネル内でのチェーン装着が見られ、危険であることから啓発チラシを作成し配布。



本線でのチェーン装着状況



タイヤ指導時チラシ配布

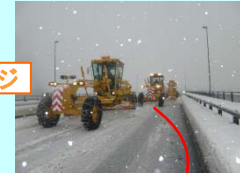


スタック多発箇所

○除雪車にGPS携帯を搭載し、位置等情報収集

除雪車にGPS携帯を搭載し、位置等の情報を収集し、除雪作業体制の強化を図る。

イメージ



システム(ロケ探)により地図上へ位置を表示



○支障となるスタック車両の牽引移動の実施

交通障害や除雪作業の妨げとなるスタック車両について、除雪車により牽引移動を実施。鳥取道では3台実施。



1.24 河原町佐貫の牽引状況

○スタック多発箇所へ注意喚起看板設置

ドライバーに早めの雪対策を講じて貰うため、チェーン着脱場やスタック多発箇所を周知するために注意看板を設置。



ほき詰橋手前看板

3) 降雪中の雪害対策 (国道53号)

○鳥取市内で排雪除雪を実施

鳥取市内では、除雪した路肩の雪で車道幅員が狭くなったため、排雪除雪を実施。



若狭街道の排雪除雪状況

○タイヤチェーン装着指導の実施

国道53号では、今冬、上り方向の大型車を対象にタイヤチェーン装着指導を実施。実施中は、スタック車両の発生無し。

日時:平成24年2月18日 8:30~11:30
場所:智頭町山根 山根PA



山根PA(上り)タイヤチェーン装着指導実施状況

○スタック多発箇所への滑り止め資材の配備

スタック多発箇所へ急な積雪等によりスタックした車両を迅速に救出するため、凍結防止材(塩カル)を配置。



黒尾峠凍結防止材の配備



岡山県
スタック多発箇所

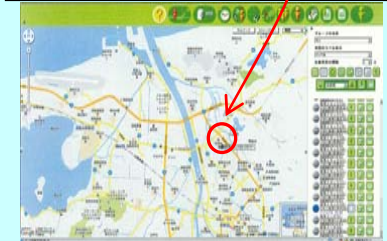
○除雪車にGPS携帯を搭載し、位置等情報収集

除雪車にGPS携帯を搭載し、位置等の情報を収集し、除雪作業体制の強化を図る。

イメージ



システム(ロケ探)により地図上へ位置を表示



○歩道除雪の実施

通学路となっている箇所は、通学の時間帯に合わせて歩道除雪を実施。



県庁付近での歩道除雪状況

○スタック多発箇所へ注意喚起看板設置

ドライバーに早めの雪対策を講じて貰うため、チェーン着脱場やスタック多発箇所を周知するために注意看板を設置。



黒尾峠手前注意看板の設置

○支障となるスタック車両の牽引移動の実施

交通障害や除雪作業の妨げとなるスタック車両について、除雪車により牽引移動を実施。国道53号では5台実施。



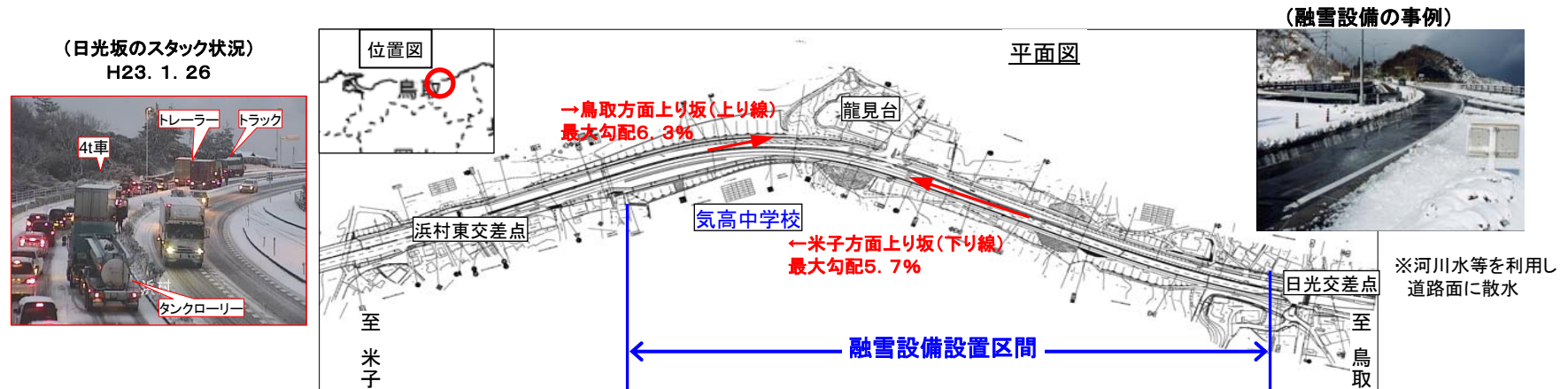
黒尾峠での牽引移動状況

◆来冬に向けた取り組み予定

○スタック多発箇所の更なる対策の検討

・融雪設備の設置

国道9号日光坂は、車両スタックの多発箇所、その対策として融雪設備設置工事に着手。来冬までには完成の予定。



・凍結抑制舗装等の整備

各路線のスタック多発箇所においては、凍結抑制舗装等の対策を講ずることを検討。

・CCTVの増設

スタック多発箇所での通行障害等発生状況を、迅速、的確に把握ができるようCCTVを増設。

○冬用タイヤ、タイヤチェーン装着指導の効率的実施の検討

今冬実施した冬用タイヤ装着指導、タイヤチェーン装着指導での課題を踏まえ、実施の場所や方法等の改善を図って効率的な実施を検討。

○道路利用者への通行止め等道路情報の提供方法の充実

通行止め等の情報を、迅速かつ的確に道路利用者へ提供するため、道の駅情報モニター等の活用を検討。